

③ 烏山川緑道・史跡（松陰神社・豪徳寺）散策ガイド

作成 2019年4月2日

催行日：2019年4月17日（水） 集合：東急世田谷線 若林駅入口辺り

行程：若林駅（東急世田谷線）⇒ 烏山川緑道⇒ 松陰神社⇒ 世田谷城址公園⇒ 豪徳寺⇒ 勝光院⇒ 世田谷線上町駅（解散）⇒ オプション：区立郷土資料館（大場家代官屋敷）

- ・中川駅 8:40～8:43 あざみ野 8:50（急行）～9:12 三軒茶屋 9:23～9:26 若林
- ・中川駅 8:32～8:35 あざみ野 8:43（各駅）～9:14 三軒茶屋 9:23～9:26 若林
- ・トイレ情報：世田谷線若林駅にはトイレがありませんので田園都市線三軒茶屋駅でトイレを済ませましょう
- ・トイレ場所：松陰神社・世田谷城址公園・豪徳寺・勝光院・郷土資料館

④豪徳寺 ③世田谷城址公園 ②松陰神社 ① 烏山川緑道天神橋



オレンジのラインに沿って進む



⑤勝光院 ⑥世田谷線上町駅 ⑦区立郷土資料館 スタート：世田谷線若林駅

今回のコースは、①烏山川緑道を歩きながら左右にある ②松陰神社⇒ ③世田谷城址公園⇒
④豪徳寺⇒ ⑤勝光院 などを訪ね ⇒ ⑥世田谷線上町駅で解散いたします。
歴史好きの方・体力に余裕のある方は、オプションの区立郷土資料館へどうぞ。

暗渠となった烏山川（からすやまかわ）の各橋のそばに猫の姿をした案内板が道標です。
スタートは、東急世田谷線若林駅（三軒茶屋方面乗り場ホーム改札口出口辺り）です。若林駅構内は狭いので、道路沿いに集まるようになります。車は少ないですが、注意してください。

① 烏山川緑道を目指し、若林駅前の道路を左へ商店街を 100 メートルぐらい進むと、烏山川緑道の天神橋に突き当たります。烏山川緑道は、かつて世田谷を流れていた目黒川の支流の一つで 1970 年代に全面暗渠化されました。天神橋を左折し烏山川緑道に入ります。



世田谷線若林駅



烏山川緑道 天神橋



烏山川緑道 天神橋案内板

② 松陰神社を目指し、天神橋から烏山川緑道を、世田谷線宮の坂方面に歩いていきます。途中の谷中橋を突っ切り松陰橋の所で左折し、右側に世田谷保育園を見ながら、200 メートルぐらい進むと右側に松陰神社の看板と下に松陰神社の扁額が見えます。扁額は、明治 41 年に一の鳥居に架けられたものです。地震により落下し現在は事故防止のためそのままとなっています。



烏山川緑道を宮の坂方面へ



烏山川緑道 松陰橋



松陰神社 落下した鳥居の扁額

松陰神社は、幕末の思想家・吉田松陰が安政の大獄に連座し処刑されたのち、高杉晋作・伊藤博文らの手によって、文久3年（1863年）小塚原・回向院よりこの地（長州藩別邸）に改葬されました。その後明治15年（1882年）松陰神社が創建されました。

境内には、吉田松陰像や萩にある幕末の英傑たち高杉晋作や伊藤博文、久坂玄瑞などが学んだ松下村塾が復元されています。



松陰神社 入口



吉田松陰像



萩にある松下村塾（複製）

③ 次の目的地、世田谷城址公園に向かうため、松陰神社の一の鳥居を出て、来た道を戻り（左側に世田谷保育園が見えます）烏山川緑道の松陰橋まで戻ります。

松陰橋につきましたら左折し、烏山川緑道を世田谷線宮の坂駅方面に歩きます。松陰橋から青葉橋まで7つの橋（厚徳橋⇒杉大門橋⇒山堰橋⇒勝橋⇒品川橋⇒稲荷橋⇒城下橋）を突っ切り、青葉橋の交差点を右折し直進すると世田谷城址公園が右側に見えてきます。



厚徳橋



杉大門橋



山堰橋



勝橋



品川橋



稲荷橋



城下橋



青葉橋



世田谷城址公園

世田谷城址公園は、今からおよそ450年前、この世田谷の地方を治めていた吉良氏という武将の居城でした。世田谷城は、城といっても天守閣はなく、湿地や川や森林など自然を利用して深い堀や石垣を作り城の備えとしていました。

天正18年（1590年）豊臣秀吉の小田原城攻めで北条氏が滅びるとともに、吉良氏も力を失い廃城となりました。現在は、世田谷城址公園となっています。

④ 豪徳寺に向かいます。世田谷城址公園の案内板に向かって左側に100メートルぐらい進むと



大谿山豪徳寺

大谿山（だいけいさん）豪徳寺と書かれた白い看板が見えてきます。そこが豪徳寺参道の入口です。参道は、参詣のための車も通りますので、注意してください。

参道を進むと山門に突き当たり豪徳寺です。

豪徳寺は、世田谷吉良氏の城跡で、寛永10年（1633年）彦根藩主井伊直孝が、井伊家の菩提寺として伽藍を創建し整備しました。曹洞宗のお寺ですが、招き猫発祥の地とも言われています。

豪徳寺は、井伊家代々の藩主の墓があり、江戸時代幕末に開国をした大老井伊直弼の墓所として都の遺跡に指定されています。また、豪徳寺は、家内安全と商売繁盛として招き猫が供えられた招福殿があります。彦根市のキャラクター「ひこにゃん」は豪徳寺のたまに因んだものです。



都遺跡



井伊直弼 墓所



招福殿の招き猫



仏様と招き猫のお供え

⑤ 5番目の**勝光院**に向かいます。豪徳寺に入った参道に戻り、大谿山豪徳寺の看板の前の道路を渡り、道路を直進するとすぐに世田谷線の踏切があります。そのまま踏切を渡り、直進すると五差路に突き当たります。(前方に竹林が見えます)五差路を斜め左側に進みます。細い道路を100メートルぐらい進み小さな交差点を右折すると勝光院の山門が見えます。



勝光院 入口



勝光院 山門



世田谷吉良氏の墓所

勝光院を菩提寺とする吉良氏は、清和源氏・足利氏の支族で三河吉良荘に起こり、世田谷吉良氏は14世紀後半に世田谷に居を構えたと伝えられています。

勝光院の梵鐘・書院は、世田谷市の有形文化財となっています。また、竹林は世田谷百景です。

⑥ **世田谷線上町駅**に向かいます。勝光院の山門を出て直進しT字路に突き当たります。T字路を右折し、前方にスーパーオオゼキの赤い看板が見えますので、その方向に進みます。スーパーオオゼキの前の通りが世田谷通りです。そこを左折し進むと世田谷線上町駅にあたります。・・・ここで解散です。お疲れ様でした。

⑦ オプションの**区立郷土資料館**へは、上町駅前の世田谷通りを渡り(三菱UFJ銀行側へ)、細い道を進みます。100メートルぐらいでボロ市通りに突き当たります。そこを左折し、300メートルぐらい進むと右側にTOTOの青い看板を掲げた水道工務店が見えます。その路地を入っていくと区立郷土資料館です。



TOTOの水道工務店



区立郷土資料館入口



区立郷土資料館の玄関



世田谷代官屋敷の門

区立郷土資料館は、区制30周年記念として昭和39年設立された都内初の公立地域博物館です。世田谷地域の歴史や民俗資料などを収監し、それらの研究成果を企画展などで公開しています。併設されています代官屋敷は、江戸中期以来、彦根藩世田谷所領20か村の代官大場家の役宅で、国の重要文化財となっています。